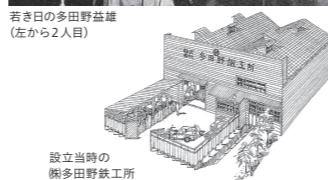


# TADANO GROUP HISTORY

- 1827 Christian DinglerがDemag社の前身となる機械工房を創業
- 1845 Justus Christian BraunがFaun社の前身となる青銅鋳造業を創業
- 1890 Faun社が「世界初となる蒸気駆動式消防車を発売
- 1919 多田野益雄が北海道にて創業
- 1948 (株)多田野鉄工所を設立、初代社長 多田野益雄  
資本金50万円
- 1950 鉄道保線機械を發明、日本国有鉄道へ納入
- 1950 Demag社が移動式クレーン V 2500 (2.5トン吊り)を開発
- 1954 油圧式産業機械の開発着手
- 1955 日本初の油圧式トラッククレーン1号機OC-2型 開発
- 1959 本社工場を現在地の香川県高松市新田町に新設移転
- 1960 油圧式トラッククレーンOC-5A型 4台をインドネシアへ初輸出
- 1961 「創造・奉仕・協力」を社是と定める
- 1962 カーゴクレーン(TM-2H)を開発[車両搭載型クレーン]
- 1964 プレストレストコンクリート機器製造会社としてSpanDeck社が創業
- 1970 日本初のラフテレーンクレーン(TR-150) 開発
- 1972 日本初の過負荷防止装置(AML)を開発  
東京・大阪両証券取引所各市場第一部に指定替上場
- 1973 初の海外子会社としてTadano International (Europe) B.V.をオランダに設立
- 1979 SpanDeck社が伸縮ブーム式クローラクレーン(10米トン吊り、13米トン吊り)を開発
- 1980 香川県さぬき市志度に志度工場を新設
- 1983 当社初の高所(活線)作業車(AT-136TE、AT-140TE)を開発
- 1984 北京事務所を中国に開設
- 1989 (株)タダノに社名変更  
グループ連結売上高がはじめて1,000億円を突破(1989年度決算)
- 1990 ドイツFaun GmbH (現:Tadano Faun GmbH)を買収
- 1991 チリ・イースター島アフンガリキのモアイ修復プロジェクト着手
- 1993 Tadano America Corporationをアメリカ・テキサス州に設立
- 1996 Tadano-Multico (S.E.ASIA) Pte. Ltd.  
(現:Tadano Asia Pte. Ltd.)をシンガポールに設立
- 1997 香川県高松市林町に技術研究所を新設移転
- 1998 日本最大(当時)550トン吊りオールテレーンクレーン  
(AR-5500M)を開発
- 2004 当社最大規模のリコール届出 ラフテレーンクレーン約1万6千台
- 2007 香川県多度津町に多度津工場を新設
- 2008 千葉県千葉市に千葉工場を新設  
アメリカSpanDeck Inc.(現:Tadano Mantis Corporation)を買収
- 2008 Demag社が世界最大級のラチスブーム式クローラクレーン  
CC 88.3200-1 TWIN (3,200トン吊り)を発売
- 2010 Tadano Oceania Pty Ltdをオーストラリアに設立
- 2011 Tadano Brasil Equipamentos de Elevação Ltda.をブラジルに設立
- 2013 世界最大級の吊り上げ能力を誇るラフテレーンクレーン  
(GR-1600XL、GR-1450EX)を発売
- 2014 イギリスCranes UK Ltd(現:Tadano UK Ltd)を買収
- 2015 グループ連結売上高がはじめて2,000億円を突破  
(2014年度・2015年度決算)
- 2016 Tadano France SASをフランスに設立
- 2017 Tadano Italthai Co., Ltd.をタイに設立
- 2018 Tadano Nederland B.V.をオランダに設立  
Tadano Belgium B.V.B.A.をベルギーに設立  
Tadano Chile SpAをチリに設立  
モスクワ事務所をロシアに開設
- 2019 Demagクレーン事業(現:Tadano Demag GmbH)を買収  
香川県高松市香西北町に香西工場を新設  
創業100周年
- 2020 Tadano Europe Holdings GmbHをドイツに設立
- 2021 日本最大級700トン吊りオールテレーンクレーン(AR-7000N)を発売
- 2022 電動パワーユニット「e-PACK」(ラフテレーンクレーン向け)を日本市場投入  
世界初の電動ラフテレーンクレーン商品化計画を発表

## 1919 多田野益雄が北海道にて創業

創業者・多田野益雄は香川県高松市で生まれ育ち、溶接業を立ち上げるべく北海道・旭川へ旅立ちました。その旅立ちの日である1919年8月29日を創業の日と定めています。当時は海外において溶接技術が普及・発展し、日本にも導入されはじめた頃でした。創業者は溶接の火花に魅了され、世の中のお役に立つことを確信し、北海道の地で事業を興しました。その後、地元である香川県高松市に戻った多田野益雄は、1948年に(株)多田野鉄工所を創立しました。



若き日の多田野益雄 (左から2人目)  
設立当時の 多田野鉄工所

## 1955 日本初の油圧式トラッククレーン1号機 OC-2型 開発

創業以来、さまざまな製品開発へ独自に挑戦し、溶接や油圧の技術を磨いていた多田野鉄工所は1955年、建設機械雑誌の情報をヒントにオリジナルの油圧式トラッククレーンOC-2型(2トン吊り)を開発生産。日本初の製品ということで全国から注文が殺到し、結果的に当社はクレーンメーカーとしての第一歩を踏み出すことになりました。



OC-2型

## 1962 カーゴクレーン(TM-2H)を開発 [車両搭載型クレーン]

幅広い作業に使われている一番身近なクレーン、カーゴクレーン(車両搭載型クレーン)の歴史は、1962年のTM-2H開発からはじまりました。今では、建設用クレーンに次ぐ、タダノの第2の柱となっています。1983年には、第3の柱である高所(活線)作業車(AT-136TE、AT-140TE)が開発されました。高所作業車をはじめとする特機商品の開発においては、クレーンの開発で蓄積した技術の応用と、作業実態の事前調査によりユーザーのニーズを織り込んでいたため、関係者より好評をいただきました。



TM-2H



AT-136TE

1919年の創業から100年以上。「世の中のお役に立つものを創りたい」との思いからタダノは、建設用クレーン、カーゴクレーン、高所作業車をはじめ、さまざまな製品を世に送り出してきました。その製品の活躍の舞台は、日本だけではなく、世界中のあらゆる場所へと広がっています。

## 1970 日本初のラフテレーンクレーン(TR-150) 開発

日本初の油圧式トラッククレーンOC-2型の開発後、油圧式トラッククレーン、カーゴクレーンの開発・販売を進めてきたタダノは、1970年に日本初のラフテレーンクレーンTR-150(15トン吊り)を開発しました。このクレーンは、「不整地や比較的軟弱な地盤でも走行でき、一つの運転席で走行とクレーン操作が行える自走式クレーン」という特徴を持ち、日本市場でも道路走行が可能なクレーンとして開発されました。このTR-150の開発を皮切りに、数多くのラフテレーンクレーンが国内外の市場に投入されました。また、1998年には日本最大(当時)のオールテレーンクレーンAR-5500M(550トン吊り)を開発しました。



TR-150



AR-5500M

## 1990 ドイツ Faun GmbH (現:Tadano Faun GmbH) を買収

Faun社のあゆみ

- 1845 Justus Christian BraunがFaun社の前身となる青銅鋳造業を創業
- 1890 世界初となる蒸気駆動式消防車を発売
- 1960 ほぼ全ての欧州主要クレーンメーカーのクレーンキャリアを生産〜70年代
- 1985 オールテレーンクレーン(30トン吊り)を開発



Faun社の買収



BEL 5 トラッククレーン



ATF-140N-5.1

## 2005 CSR(企業の社会的責任)への取り組み

2004年、岡山県の国道で当社製ラフテレーンクレーンによる死亡事故が発生。安全装置の不具合が要因の一つと判明し、12月に8型式16機種15,278台のリコールを届け出ました。このリコールを受け、「建設機械は公道を走らせていただいている」との気付きを得るとともに、「企業とは」「経営とは」という原点を見直し、翌2005年よりCSR(企業の社会的責任)推進を本格的に開始しました。2006年にはCSR憲章を制定し、CSR視点での製品開発や事業活動が進められ、2008年に志度工場の屋上に太陽光パネルを設置するとともに、環境負荷の少ない海上輸送のために志度港にバージ船着岸施設を建設しました。



バージ船による製品海上輸送



太陽光パネルの設置(志度工場)

## 2008 アメリカ SpanDeck Inc. (現:Tadano Mantis Corporation) を買収

SpanDeck社のあゆみ

- 1964 プレストレストコンクリート機器製造会社として創業
- 1979 伸縮ブーム式クローラクレーン(10米トン吊り、13米トン吊り)を開発
- 1990 ビッグ・ディック(ボストン市内の高速道路を地下に埋める巨大プロジェクト)などの大規模な建設現場での活躍から知名度が上昇
- 2007 伸縮ブーム式クローラクレーン 200RS(100米トン吊り)を開発



Tadano Mantis Corporation 工場



10010MX GTC-1200

## 2019 香西工場を新設

当社グループ製品が世界中で活躍するようになり「ものづくり」もグローバル化しています。1990年のドイツ・Faun社の買収を皮切りに、2008年にはアメリカ・SpanDeck社、2019年にはドイツ・Demagクレーン事業買収で生産拠点は拡大し、コアバリューを軸に「世界最適生産」を追求しています。また、2019年には香川県高松市香西北町に日本で5工場目となる香西工場を新設。「Next Generation Smart Plant〜人と機械が調和し、次世代につながるスマート工場〜」をコンセプトに、8月から本格稼働を開始しました。



香西工場

## 2019 ドイツ Demagクレーン事業 (現:Tadano Demag GmbH) を買収

大型のオールテレーンクレーンやクローラクレーンで世界有数のブランドとして定評のあるDemagクレーン事業を買収したことにより、幅広いお客さまのニーズにお応えすることが可能となりました。

Demagクレーン事業のあゆみ

- 1827 Christian DinglerがDemag社の前身となる機械工房を創業
- 1950 移動式クレーン V 2500 (2.5トン吊り)を開発
- 1987 当時最大級のラチスブーム式クローラクレーン(1,000トン吊り)を開発
- 1998 当時最大級のオールテレーンクレーン(650トン吊り)を開発
- 2008 世界最大級のラチスブーム式クローラクレーンCC 88.3200-1 TWIN (3,200トン吊り)を発売



V 2500



CC 12000



CC 28.600-1



Christian Dingler



Tadano Demag GmbH Wollerscheid 工場



AC 6.300-1